

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

1 日時

2020年12月19日（土） 18時25分から20時30分まで

2 会場

名古屋市千種スポーツセンター 第1競技場

3 競技種目

ラグビー

4 講師（敬称略）

愛知県ラグビーフットボール協会 玉置 文子、長谷川 浩仁（他9名）

5 活動内容

最終回もタグラグビーを体験しました。初めに、前回行った「金魚のフン」の隊形でランニングしたり準備体操をしたりして、ウォームアップを行いました。次に行った円陣パスでは、パスの受け渡しのスピードをゲーム形式で競いながら行いました。何回か行いましたが、勝ったチームには、人との距離を長くするなどのハンディを加えながら、楽しく競い合いました。

今回は、タグを取られた後の展開の仕方をねらいとした練習が組み立てられており、前回の「金魚のフン」の隊形を意識しながら、オフ・ザ・ボールの動きを2vs1などの練習で理解していきました。レシーバーは、走りながらボールを受けるために、どんなタイミングでスタートすれば良いかを実践の中で探っていきました。一方、ボールマンは、タグを取られた後、止まってパスを出すことを意識することを学び、ゲームではオーバーステップというルールが追加されました。次は何を学べるのかなという期待の中で、終了時間が来てしまい、残念がるアカデミー生の姿がとても印象的でした。



今日のメイン講師は松井先生



タグを取られても仲間がいる！



モップがけもみんなで楽しく



講師の先生達との記念撮影

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

1 日時

2020年12月12日（土） 18時25分から20時30分まで

2 会場

名古屋市中村スポーツセンター 第1競技場

3 競技種目

ラグビー

4 講師（敬称略）

愛知県ラグビーフットボール協会 玉置 文子、長谷川 浩仁（他9名）

5 活動内容

2回目もタグラグビーの体験でしたが、今回はオフサイドのルールを意識した「金魚のフン」の隊形練習を主に行いました。

練習は、笛の合図で、金魚の役とフンの役が順番に入れ替わるというルールの中で、隊形を維持しながらジョグをするという内容でした。隊形を覚えた後は、ボールを持った状態で隊形維持の練習をしました。金魚の役がフンの役にパスをすると、受け取ったフンの役はスピードを上げて金魚の役に入れ替わるという練習でした。ゲームでは、このような練習のおかげで、自然とボールマンの後ろにレシーバーが陣取る隊形ができ、スムーズにパスが回るようになりました。講師からも「前回とは見違えるようになった」「仲間を意識したゲームができるようになった」と講評をいただき、笑顔で活動を終えました。

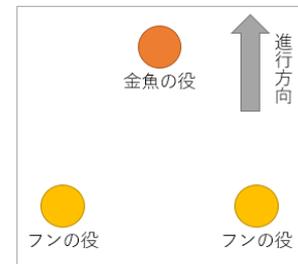


図. 「金魚のフン」の隊形



講師の田村先生



「金魚のフン」の隊形でのパス練習



「金魚のフン」を意識したゲーム



ゲームの合間の作戦タイム

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

1 日時

2020年12月5日（土） 18時15分から20時30分まで

2 会場

日本ガイシスポーツプラザ 第2競技場

3 競技種目

ラグビー

4 講師（敬称略）

愛知県ラグビーフットボール協会 玉置 文子、長谷川 浩仁（他8名）

5 活動内容

ラグビーの1回目は、タグラグビーの体験でした。グループ分けとベルトを腰に巻いてタグを付ける準備の後、楕円球の持ち方やボールを回転させずに投げるストレートパスのコツを教わりながら円陣でパスを練習しました。

次に、タグを取る練習では、1対1の対面でウォーキングから徐々にスピードを上げて行い、取った後には「タグ！」と大きな声でコールしていました。

ボール集めゲーム（ロブ・ザ・ネスト）では、自陣のフープにボールを早く3つ集めるためにメンバーが指示を出し合い、楽しく行いました。

休憩時間には、仲間とスクリーンパスに取り組む様子も見られました。

最後に行ったゲームでは、ボールを持ったら先頭まで出ること、パスは必ず後ろにすること等、試合をとおしてラグビーの基本を学びました。



タグの準備



円陣パス



タグを取って「タグ！」とコール



鋭いステップを切って